南アルプス市を
一般家庭にたとえると…

南アルプス市の家計簿

市の財政状況を身近に感じていただくため、平成30年度の決算を一般家庭の家計簿（一カ月分）に置き換えてみました。

収　入	
給与収入等	144,000円
親からの仕送り	203,000円
貯金の取り崩し	1,000円
ローンの借入れ	89,000円
前月からの繰越金	22,000円
収入　合計	459,000円

市税・使用料など
市税・使用料・手数料などの収入で自主財源と言われています。自立した財政運営を進めるためには、この自主財源の確保に努めなければなりません。

地方交付税・補助金など
地方交付税や国・県からの補助金などの依存財源です。

市債
市の借入金です。
市では、公共施設や道路などの整備を行うためお金を借りていますが、返済金の70%が普通交付税に算入される、有利な市債（合併特例債）を主に活用しています。
また、借入金を前倒しして返済し、将来の返済金による家計への負担を減らすよう努めています。

1世帯あたり貯金残高
55万5千円

市民1人あたり
21万6千円

支　出	
食　費	61,000円
医療費・教育費等	73,000円
ローンの返済	62,000円
生活費・光熱水費等	72,000円
家の改修工事費等	94,000円
区費・クラブ活動費	27,000円
子どもへの仕送り	45,000円
友人などへ貸したお金	0円
貯　金	3,000円
支出　合計	437,000円
（収入ー支出）余ったお金	22,000円

人件費
職員給与費や議員報酬などです。

扶助費
生活保護や医療費助成などの扶助費は、義務的な経費で、勝手に減らしたりすることができません。
少子高齢化に伴う福祉対策により、増加傾向が続いています。

公債費
市債の元金・利子の返済金です。

物件費
光熱水費や委託料などです。

普通建設事業費・維持補修費
公共施設の整備・維持に使われるお金です。
道水路の整備や維持補修、教育施設の改築・補強工事などを行っています。

補助費等
団体への補助金などです。

繰出金
市の会計は一般会計のほかに、国民健康保険や介護保険などの特別会計と、水道事業などの企業会計があり、それぞれ独立採算を原則としていますが、一定の基準により、一般会計から特別会計へ資金の繰出しを行っています。

投資及び出資・貸付金
市の政策上の目的で、公益上必要がある場合に行うものです。

積立金
将来の財政運営に備えた基金（貯金）の積立てです。

市民1人あたり
8万6千円

1世帯あたり実質ローン残高
22万3千円

※1世帯(1人)あたりの実質ローン残高については、国負担分92万1千（35万9千）円を除いてあります。